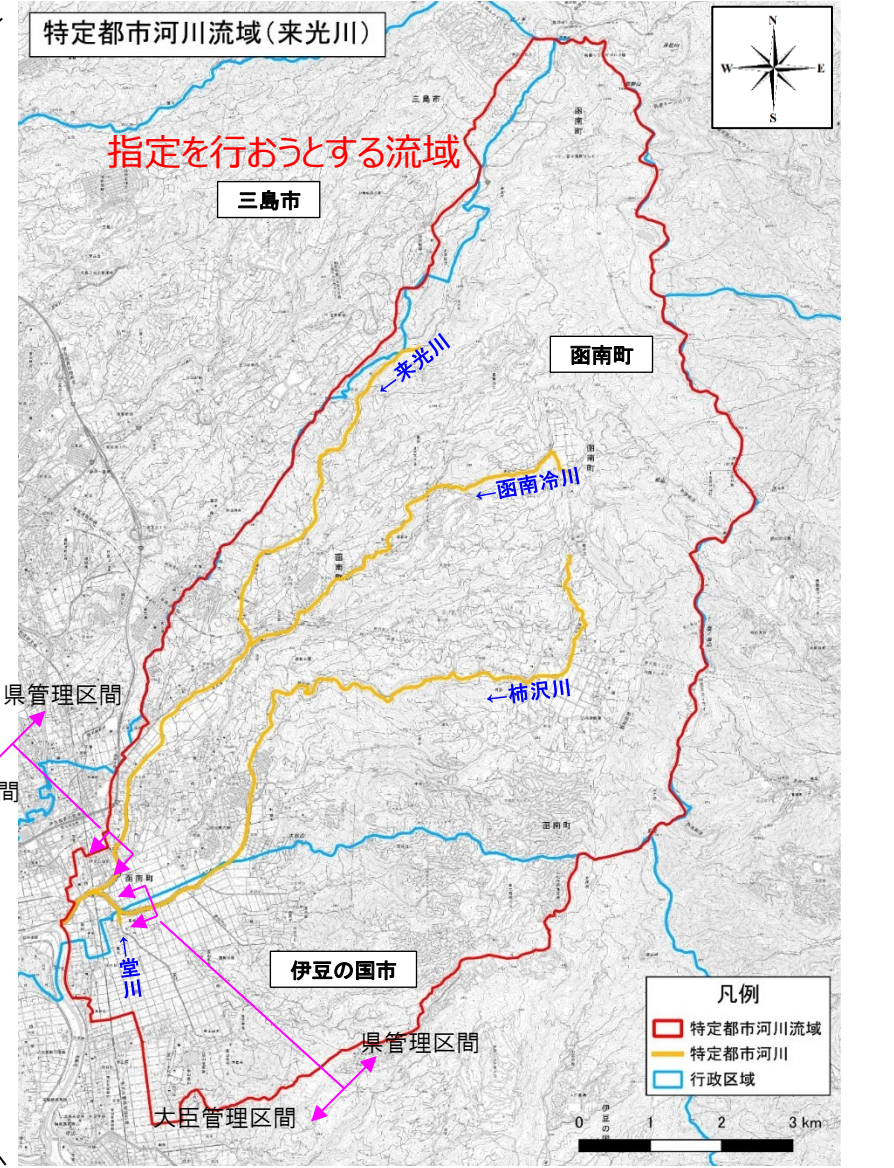
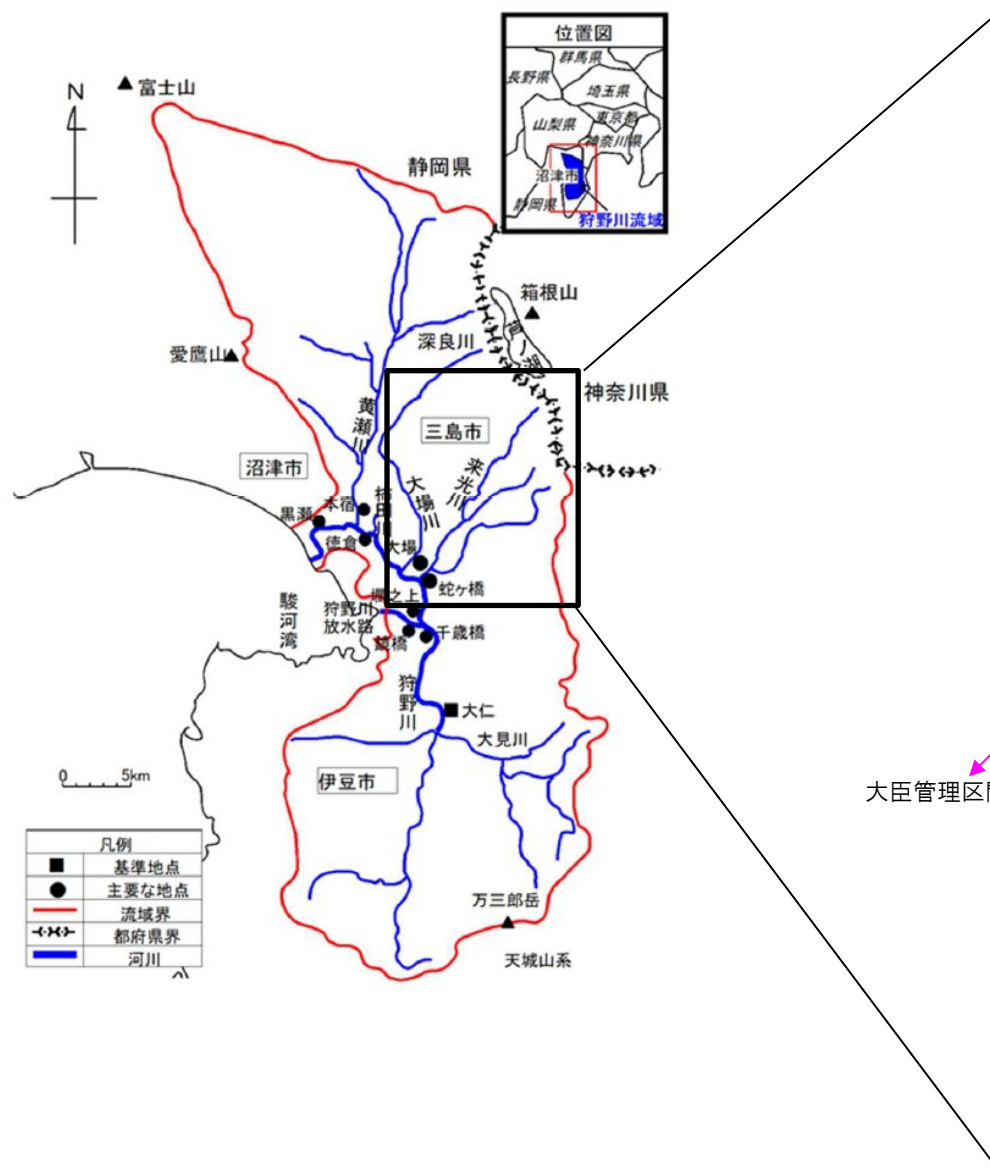


「流域治水」の本格的な実践に向けた「狩野川水系来光川等」の特定都市河川への指定(1/3)

■ 狩野川水系来光川（流域面積：79km²）
幹川流路延長：11.20km（大臣管理区間1.53km、県管理区間9.67km）

別紙



「流域治水」の本格的な実践に向けた「狩野川水系来光川等」の特定都市河川への指定(2/3)

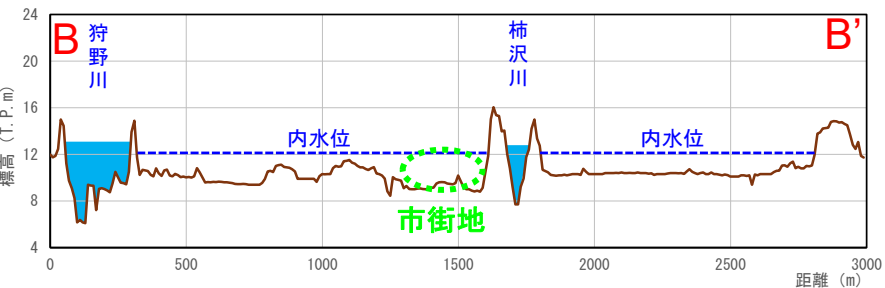
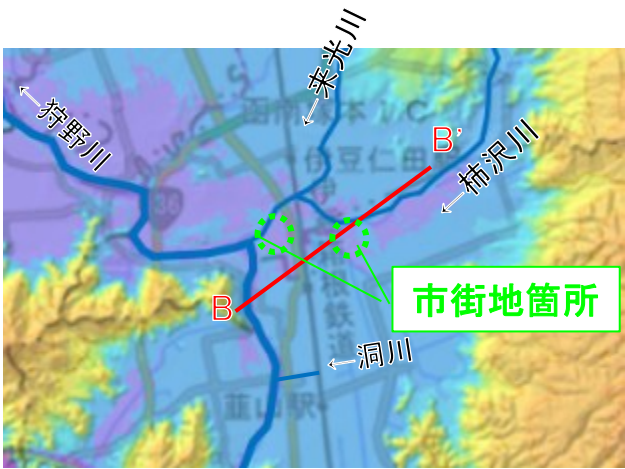
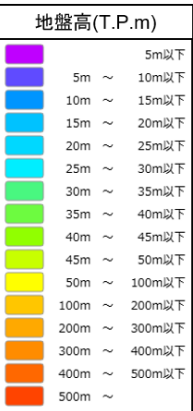
■ 指定を行おうとする河川の区間

河川名		区間	
		上流端	下流端
国土交通大臣指定	来光川	静岡県田方郡函南町桑原字城山 1 3 2 6 番 1 地先	狩野川への合流点
	柿沢川	静岡県田方郡函南町軽井沢字大沢里 1 2 3 番地先	来光川への合流点
	堂川	左岸：静岡県伊豆の国市原木字糠田 1 2 4 2 番 2 地先 右岸：静岡県伊豆の国市長崎字竹之下 1 6 2 番 2 地先	柿沢川への合流点
	函南冷川	静岡県田方郡函南町田代字田ヤシキ 9 9 番 1 地先	来光川への合流点
静岡県知事指定	洞川	左岸：静岡県伊豆の国市四日町字四五六 5 2 6 番 3 地先 右岸：静岡県伊豆の国市四日町字舞台 4 1 1 番 2 地先	狩野川への合流点

「流域治水」の本格的な実践に向けた「狩野川水系来光川等」の特定都市河川への指定(3/3)

来光川流域の特徴

- 狩野川流域では、昭和33年9月（狩野川台風）、平成10年8月洪水、平成16年10月洪水等、たびたび大きな洪水被害が発生してきた。近年発生した令和元年10月洪水（令和元年東日本台風）においても、主に来光川や洞川を含む狩野川中流域にて内水被害が発生し、甚大な浸水被害が発生した。
- 狩野川中流域のうち、来光川流域および洞川流域は、内水氾濫により甚大な被害が発生する狩野川流域内有数の内水常襲地区であり、地元住民の防災意識も高く、流域一体となった浸水被害対策の推進が望まれているため、特定都市河川に指定し、法的枠組みのもとで、雨水流出の抑制や土地利用規制など、流域一体となった浸水被害防止に取り組み、早期に地域の安全性の向上を図る



過去の被害

洪水発生年月	主な被害	主な被害河川	被害要因
平成10年8月	・浸水面積: 317ha ・浸水家屋: 床上223戸、床下297戸 ・一般資産被害額: 167千万円	・来光川、柿沢川、堂川 ・洞川	・有堤部越水 ・内水
平成16年10月	・浸水面積: 27ha ・浸水家屋: 床上5戸、床下15戸 ・一般資産被害額: 4千万円	・来光川、柿沢川、堂川 ・洞川	・内水
令和元年10月	・浸水面積: 240ha ・浸水家屋: 394戸 ・一般資産被害額: 179千万円	・来光川、柿沢川、堂川 ・洞川	・内水
令和6年7月	・浸水面積: 約20ha(精査中) ・浸水家屋: 床上1戸、床下10戸	・来光川、柿沢川 ・洞川	・内水

今後の予定

- R8.9 指定に向けた手続き開始（法定意見聴取開始）
- R8.12 特定都市河川・流域の指定
- 指定後 流域水害対策協議会の設置
流域水害対策計画の策定



特定都市河川指定までの動き

- R4～ 来光川の特定都市河川指定に向けて、国交省、静岡県、伊豆の国市、函南町で新田・原木・長崎・四日町地区内水対策勉強会を開催。以後定期的に開催し、指定に向けた調整を進めてきた
- R7.3 狩野川水系流域治水協議会において、来光川の特定都市河川指定を行うことに合意